

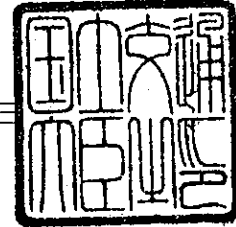


# 認定書

国住指第 259 号  
平成 20 年 6 月 18 日

住友金属鉱山シボレックス株式会社  
代表取締役社長 伊藤 敬 様

国土交通大臣 冬柴 鐵三



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第七号及び同法施行令第 107 条第一号（柱：1 時間）の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号  
FP060CN-0339
2. 認定をした構造方法等の名称  
ALC パネル被覆／鋼管柱
3. 認定をした構造方法等の内容  
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存してください。

## 1. 構造名：

ALCパネル被覆／鋼管柱

## 2. 申請仕様の寸法：

申請仕様の寸法を表1に示す。

表1 申請仕様の寸法

項目	申請仕様
鋼管柱	角形鋼管 断面寸法：□-300×300×9mm以上
被覆材	厚さ：50mm以上

## 3. 申請仕様の主構成材料：

申請仕様の主構成材料を表2に示す。

表2 申請仕様の主構成材料

項目	申請仕様
鋼管柱	断面形状：角形鋼管 鋼材の種類：①～④の一 ①一般構造用角形鋼管 (JIS G 3466) STKR400、STKR490 ②一般構造用圧延鋼材 (JIS G 3101) SS400、SS490 ③溶接構造用圧延鋼材 (JIS G 3106) SM400、SM490 ④建築構造用圧延鋼材 (JIS G 3136) SN400、SN490
被覆材	材料：ALCパネル (JIS A 5416) 配合：珪石 54±10質量% セメント 33±9質量% 生石灰 5±3質量% せっこう 7±3質量% 添加剤 (有機質分0.38質量%以下) 1質量%以下 表面の形状：①又は② (図3参照) ①平滑 ②溝加工 最低厚さ：40mm以上 (溝加工部)、32mm以上 (小口部) 溝部の容積欠損率：9.2%以下 密度：500±50kg/m <sup>3</sup> 製品寸法：幅351.2～600mm、長さ1800～3000mm 配筋：鉄線 (JIS G3532) ①又は② ①：線径2.6～3.7mm、幅方向間隔100mm、長手方向間隔150mm 本数6本 (製品幅600mmあたり) ②：線径1.2mm、幅方向間隔25.5～27mm、長手方向間隔35～95mm 本数22本 (製品幅600mmあたり)

4. 申請仕様の副構成材料：

申請仕様の副構成材料を表3に示す。

表3 申請仕様の副構成材料

項目	申請仕様
取付金物 (図2参照)	材料：冷間圧延鋼板 (JIS G 3141) 寸法：L -30×30×40×1.2mm 取付間隔：450mm以下 (金物の爪を用いて被覆材に取付ける)
留付材	被覆材用 (タッピンねじ) 材料：①、②又は③ ①冷間圧造用炭素鋼 (JIS G 3507-1：線材、JIS G 3507-2：線) ②冷間圧延鋼板 (JIS G 3141) ③冷間圧造用ステンレス鋼線 (JIS G 4315) 寸法：φ5×長さ50mm以上 留付間隔：450mm以下 (取付金物の位置に留付材を留付ける)
接着材	材料：シリカ・けい酸ソーダ系 配合：シリカ 45～55質量% けい酸ソーダ 30～40質量% カオリン 5～15質量% 使用量：180g/m以上
埋戻し材	被覆材用留付材部分の埋戻し 材料：セメント系 配合：白色セメント 50質量% ALC粉末 30質量% パーライト 20質量%

5. 申請仕様の構造説明図：

申請仕様の構造説明図を図1～図3に示す。

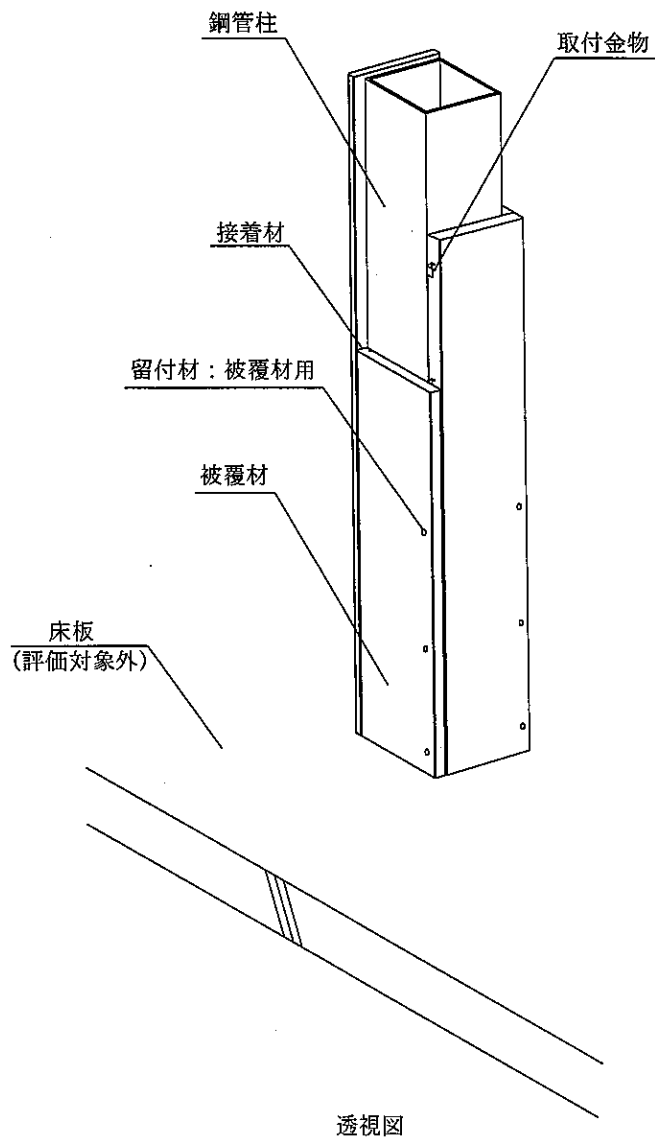
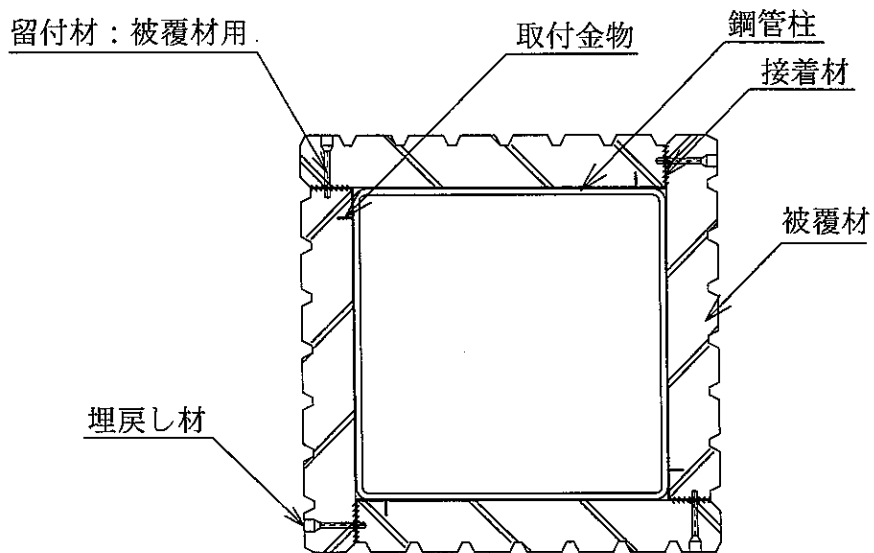
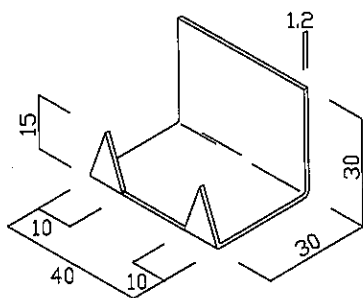


図 1 構造説明図

単位 mm



断面図

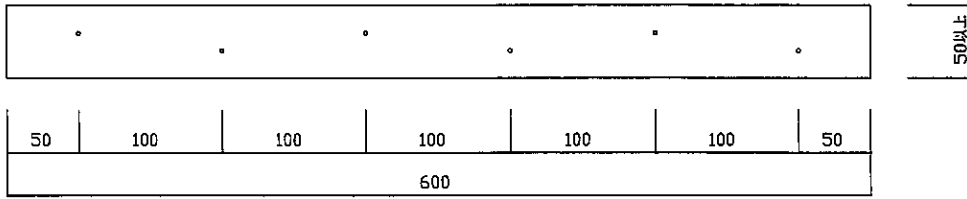


取付金物詳細図

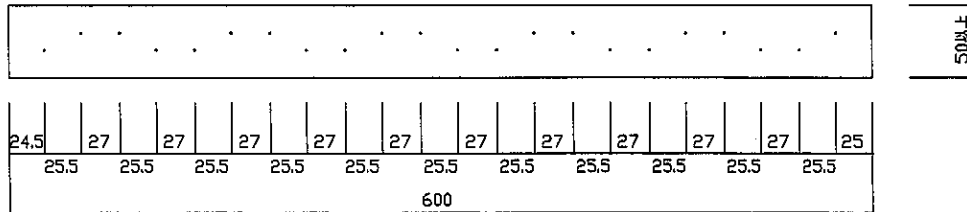
図2 構造説明図

単位 mm

① 線径2.6~3.7mm、幅方向間隔100mm、長手方向間隔150mm、本数6本（製品幅600mmあたり）

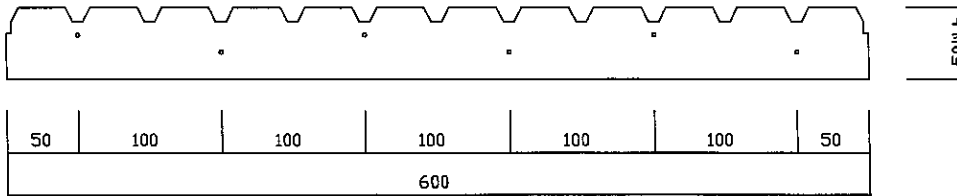


② 線径1.2mm、幅方向間隔25.5~27mm、長手方向間隔35~95mm本数22本（製品幅600mmあたり）

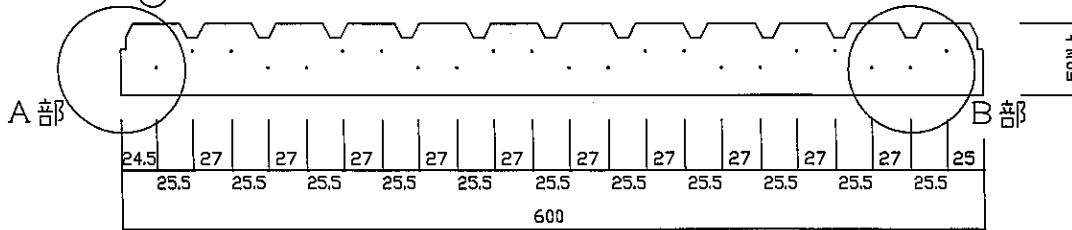


表面形状が平滑の場合

① 線径2.6~3.7mm、幅方向間隔100mm、長手方向間隔150mm、本数6本（製品幅600mmあたり）



② 線径1.2mm、幅方向間隔25.5~27mm、長手方向間隔35~95mm本数22本（製品幅600mmあたり）



表面形状が溝加工の場合

被覆材（ALCパネル）の配筋詳細図（製品幅方向）

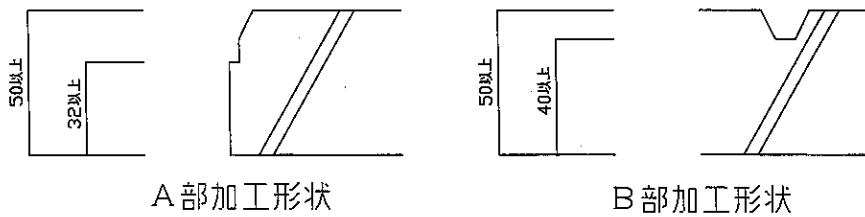


図3 構造説明図

## 6. 施工方法

施工図を図4に示す。

### (1) 被覆材（ALCパネル）の施工

- 1) 躯体鋼管柱に予め被覆材を取付けるための墨を出す。
- 2) 被覆材に取付金物を取付間隔450mm以下となるように取付ける。
- 3) 被覆材は一面を先に、次いで直交方向の被覆材を取付金物の位置に留付材を用いて取付ける。
- 4) 留付材の頭は、被覆材の表面より5～10mm埋込み、埋込み部に埋戻し材にて埋める。

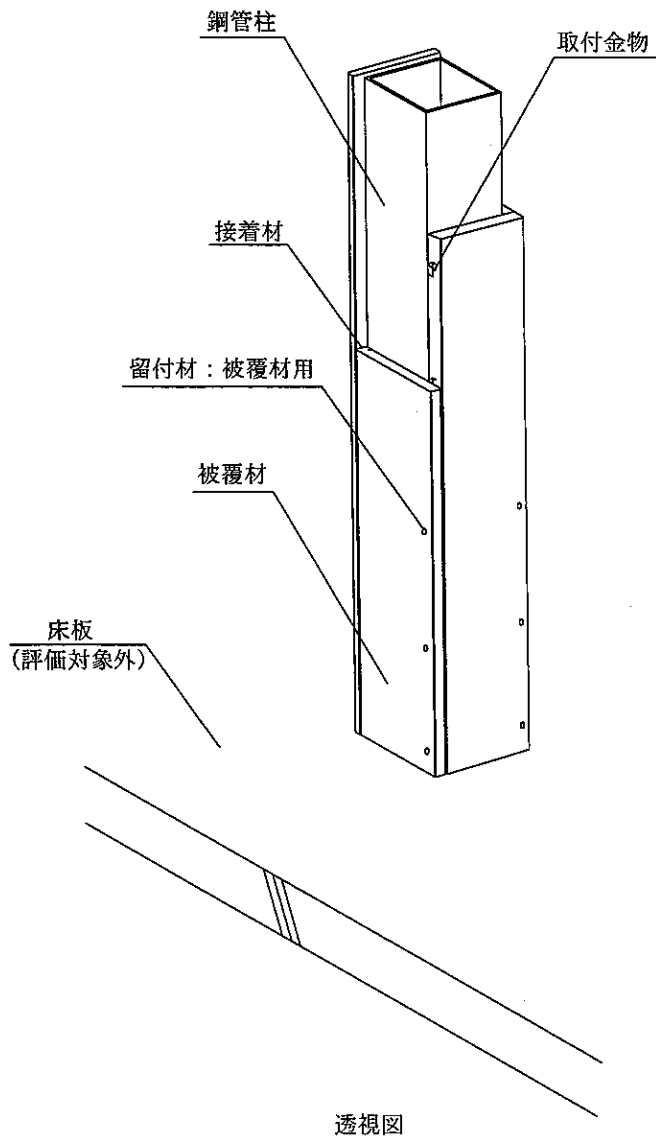


図 4 施工図